Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

CANジャーナル

2018
平成 30 年
10月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

≪施設実習報告≫　静岡福祉医療専門学校

～現場での実習を通して知識・技能・技術を身に付ける～

2TW・2CW　第３期実習（平成 30 年6月 25 日～7月 28 日）

寄り添い理解するために

介護福祉学科　増田　椋架

私は今回の実習で「信頼関係」を築くことで、利用者様から頼って頂いたり、普段聞くことのできないお話しを聞かせて頂いたりしました。その反面、一人の利用者様と信頼関係を築くには多くの時間が必要であるため、利用者様全員との関係を築くためには計り知れない時間が必要であると学びました。その中で職員様が利用者様一人ひとりと信頼関係を築き、ニーズを把握していることに感銘を受けました。

私が利用者様に問いかけをした際の返答と、職員様からの問いかけへの返答には「言葉」「声色」「表情」など多くの点で違いがあることに気づきました。それはお互いを理解し、しっかりと信頼関係が築けていることが様々な場面がから理解することができました。

第３期実習における自己評価は、「対象者様の意思に寄り添った「声掛け」、対応ができた」というところにあります。その過程では関わりや、声掛け、生活支援を行う中で躊躇する場面が多々ありました。その躊躇が関係づくりの妨げになり、一歩を踏み出して頂けないことに繋がったこともありました。そのため、次の第４期実習では一人ひとりへの対応の違いや、個人、またはその状況に合わせた関わり、声掛け、対応が行えるよう、もっと寄り添い、相手を理解していきたいと強く感じています。

今回の学びをこれからに活かしていけるように第４期実習や、残りの学校生活を送りたいと考えています。

向き合う時間の大切さ

総合福祉学科　佐野　和希

第３期実習では今までになかった「介護計画の立案」という大きな課題がありました。そのため、今回の実習は「実習生」というよりも「介護福祉士」として臨みたいと考えていました。幅広い視野を持ち、多面的に利用者様を捉えるためあらゆる手段を駆使し情報収集を行うことに心がけました。技術面では、食事、排泄、入浴、整容等々の生活支援を実践させて頂きました。回数を重ねていくにつれて「個々人に負担のかからない方法」を選択し、実践することができるようになっていきました。気づくと、今までより半分程の時間で生活支援技術を行うことができるようになりました。

介護計画を立案していく中で「利用者様と関わる時間を意識する」「情報や課題を整理する時間をきちんと取る」「情報をきちんと整理できていないと相手との関わり方が不明確になる」「集団生活の中での情報のまとめ方と結びつけ方次第で一人の利用者様の対人関係環境が変化する」等々多くのことを学びました。今回学ばせて頂いたことの中にはまだ実践に繋げられていないことがあります。その学びを第４期実習に繋げていきたいと思います。

2MIS 夏季病院実習　（平成 30 年 7 月 23 日～8 月 31 日）

夏季病院実習で学んだこと

医療情報秘書科　木村　玲美

私は今回の実習で様々な経験をさせていただきました。外来受付や総合受付だけでなく、リハビリや病棟の受付、入院会計なども体験させていただきました。仕事内容はもちろん、どの部署の作業が自分に向いているのか？など考えたり、実習中とても充実した日々を送らせていただきました。

入院設備のある病院だったため、複数の診療科があり、その分医療事務員の仕事もたくさんありました。中でも私は病棟クラークの仕事にとても興味を持ちました。入院する患者様の事前に必要な書類をそろえたり、退院する患者様の会計データを入力したりと、そういった作業をいかに効率よくできるかを考えながら動いているスタッフの方を間近で見て感心し、私もそのやりがいのある仕事をしてみたいと思うようになりました。

２週間の実習を通して、効率よく迅速な対応をすることや周囲への思いやりや気配りの大切さがわかりました。また今の私にはまだまだ足りない部分なので、今後の課題として意識しながら、残りの学生生活を後悔のないよう過ごしていきたいです。

3TW 第５期実習　（平成 30 年 8 月 1 日～8 月 25 日）

「地域包括支援センター」での実習を終えて

総合福祉学科　　橋本　凱人

私は、第５期実習を「地域包括支援センター」にて行った。「地域包括支援センター」は、相談に来られた方の話を聴き、センター内で対応が難しい場合は、様々な機関を紹介する『橋渡し』のような業務を行っている場所であった。実習を行う中で多くの方が相談に来られ、私はこれまで学んできた知識を確実な情報として、着実に説明できなければいけないと感じた。【相手に説明し、理解を得る】ということは社会福祉士になる上でとても重要なことだと痛感した。私が在籍する総合福祉学科は、介護福祉士と社会福祉士取得も目指した学科であるため、より多くのスキル・知識を身につけていく必要がある。後期は、介護福祉士国家試験対策も始まり、第６期実習も控えている。１年次からの振り返りを行い、その集大成が大きな自信と変わるよう、より一層の努力を行っていきたい。

1TW・1CW 第１期実習　（平成 30 年 9 月 4 日～9 月 15 日）

第１期介護実習を通して

総合福祉学科　鈴木　綾

私が第一期実習を通して感じたことは、介護福祉の道を選んで本当に良かったということだ。なぜなら、職員の方は常に利用者様が今の状態よりもよくなることを考え、施設がより楽しい場所になるよう工夫している姿を目の当たりにし、人の温かい心を感じることができたからだ。私は人が他の誰かに優しくしているところを見ると、すごく嬉しい気持ちになり私もそうありたいと実感する。

福祉の仕事は、何かしらのサポートが必要な方との相互関係となっている。サポートが必要な方の求めていることをできるだけ可能にしていき、皆が幸せに生きる支援をしていきたいと感じた。

もう一つ実習を通して感じたことは、福祉の現場では視野を広くすることがすごく重要になってくるということだ。例えば、ベッドからの転落、車椅子の巻き込み事故、飲食物などによる窒息事故など様々な事故が日常生活と隣り合っていることが分かった。その事故を防ぐためには、職員の方の視野の広さが重要になってくると感じた。

また、利用者様同士の人間関係を観察する視野を広くすることも大事だと感じた。私は、第一期実習を通し、自分の未熟さに気がついた。今後は、自分に足りないところを日々の学校の授業や日常生活を通し学んでいきたいと考える。

第１期介護実習を終えて

介護福祉学科　川口　万亜矢

初めての介護実習、不安と緊張から始まりました。そんな私を利用者様、職員の方が温かく迎えていただき、学びの多い実習になりました。この実習で一番感じたことは、「コミュニケーションの大切さと難しさ」です。コミュニケーションを図るなかで、利用者様の体調や伝えたいことを汲み取らなければならず、質問とは違う答えが返ってきた時、私は戸惑ってしまいました。言葉遣いはどうすれば良いのか、どのような質問をしたら良いのか、頭の中でいろいろ考えていても、うまく話すことができず、悔しい思いをしました。しかし、利用者様の笑顔を見たり、楽しそうな声を聞いたりした時は、とても嬉しい気持ちになり、「介護の魅力」感じることもできました。第２期実習に向け、さらに知識・技術を身につけるよう後期の勉強を頑張りたいです。

裏面へ続く

Computer Academy Nakamuragakuen PROFESSIONAL COLLEGE

CANジャーナル

2018
平成 30 年
10 月号

学校法人　中村学園
専門学校　静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

平成 30 年度学生募集

入学願書 10 月 1 日受付開始！！

企画広報室　小林　昌人

皆さん、こんにちは！今年度も半分が終わりました。前半を振り返ってみて、いかがでしょうか。就職活動や資格取得など、年度初めに掲げた目標達成に近づくことができているでしょうか。残り半年、悔いのないように継続して充実した毎日を過ごしましょう！

さて、本学ではいよいよ今月から入学選考が始まります。今年度も『AO入学選考』『指定校推薦選考』『特待生選考』『一般選考』『自己推薦選考』『社会人入学選考』『留学生選考』と多彩な選考方法で実施します。高校生がオープンキャンパス等で来校した際には、ぜひ声をかけてあげてください。皆さんもそうだったと思いますが、高校生は緊張して来校します。皆さんの声かけで本学のアットホームな雰囲気を感じてもらい、少しでも緊張をほぐしてあげて、入学選考でもよい結果が出せるように応援しましょう！

また、今後もオープンキャンパスは継続して開催します。皆さんの周りの後輩や家族、兄弟姉妹等、電子情報や福祉医療への道を志す方がいれば、ぜひ本学のオープンキャンパスへの参加をお勧めください。

特に最近は『社会人の学び直し』での入学も増えています。一度就職して社会に出たけれど、新しい道にチャレンジしたい！という方を本学では全力で応援します。本学の、どの学科でも『学び直し』へのチャレンジはできます。ぜひ迷っている方がいれば、皆さんが背中を押してあげてください。皆さんの普段の授業や実習の様子等、『生の声』をお伝えいただくことで、本学の魅力が直接伝わると思います。皆さんの明るい笑顔、元気なあいさつが、何よりも中村学園を象徴する魅力の１つです。学校生活だけでなく、これから就職活動、そして就職後にもぜひ継続してください！

✎平成３１年度学生募集　入学願書出願受付開始

第１回入学選考：10月27日（土）

指定校推薦選考、特待生選考、
自己推薦選考、一般選考、
社会人選考、留学生選考

願書受付　10月1日(月)　～　10月26日(金)15:00〆切

オープンキャンパス　　⇒10月13日(土)13:15～15:30
学校学科・入学選考説明会⇒10月23日(火)17:00～18:30

自分のキャリアの主人公は、自分。
「キャリア・オーナーシップ」を持とう

進路室長　橋野 幸男

これからの秋冬、次年度卒業年次（2020 年 3 月卒）向けの「就活準備イベント」が次々と開催されます。皆さんが生きていく「人生 100 年時代＋AI 時代」においては、「キャリア自律」、つまり、「自分のキャリアに自分が責任を持って(組織任せにしないで)、経済社会の変化に対応していく」ことが当たり前となります。ですから、「テクノロジー」と「キャリア」についてのリテラシーを高めていくことが重要です。最新の技術動向を常にキャッチし、「次に来る時代において自分の適性はどこにあり、それを発揮できるのはどんな場か」を、自分なりに調べ、考え、チャレンジしていく―。そんな生き方を身に付けなければなりません。そして、専門学校で学ぶ皆さんこそ、日々の学生生活、就活準備で、「自律的キャリア形成」の第一段階を歩んでいるのです。

‥　　‥　　‥

さて、地元新聞社や県・市町が主催する就活イベントで、「保護者向けセミナー」が同時開催されることがあります。コンサルタントの講演、地元企業数社のアピール、その後、学生対象のイベントを見学する―、という流れで、私も年に一度は参加してきました。ここでは、「売手市場」に転じた 3 年前、コンサルタント・松本保美氏が『広がる内定格差のワケ』と題して行った講演の一部を引用します（同氏は、㈱ジョブエール 代表。鈴与㈱・㈱バンダイ・㈱アルバイトタイムスで人事部門を経験の後、独立）。当時、売手市場の下で進む「“内定長者”と“無い内定者”の“二極化”」が指摘され始めていました。以下は、「内定格差 ← 情報格差、仲間格差、行動格差」のうち、「行動格差」の事例として、ご自身が大学講師の立場で指導した学生たちの活動を紹介したものです。

a. 某信用金庫に入職した A さん： 静岡県内の 7 つの信用金庫で、それぞれ自分名義の預金通帳を作りました。待っている間、窓口の接客の様子、店舗の雰囲気などを自分の目で確かめることができました。最終面接では、「貴庫のサービスが一番良かったです」と答えて、内定を獲得しました。

b. 保育園で栄養士になった B さん： どうしても保育園に栄養士として勤務したいものの、就職サイトには求人が公開されていません。そこで、富士市、沼津市、三島市の電話帳から、50 の保育園をピックアップして、「応募を受け付けてもらえませんか」と片っ端から電話を架けまくりました。そのうちの 5 つの保育園を見学でき、そして希望する園に採用されました。

c. 某結婚式場に入社した C さん： いくつものブライダル・フェアを見学に行き、また、衣装のレンタル会社も訪問しました。お皿や料理のセッティング、衣装のクリーニングなど、体力が必要で地味な仕事がほとんど、簡単にウエディング・プランナーになれない現実を知りました。「それでも、頑張ります」、この気持ちを伝えて、内定を得ました。

a.では、窓口担当者の「あら、大学生？ ひょっとして、就活中？」という声を聞いた周りの職員たちが、「頑張って」と拍手を送ってくれたとのこと。また、c.は、県内学生が編集する雑誌『静岡時代』にも投稿されました。追加募集の第４次・最終役員面接で、「夢は叶う」とのタイトルの下、就活の過程、そして、目指すウエディング・プランナーへの道の厳しさを知った上で、それでも志望したという想いを伝えたところ、女性社長が感涙 ―、という事例です。

‥　　‥　　‥

いかがでしょうか。本学学生についても、「行動格差」「情報格差」という「二極化」が気になることがあります。学外でのコンペやイベント参加など、外の世界での経験・インプットが確実に成長につながっている学生が見られる一方、次のような学生も散見します。安易な情報源で満足、自分の力を発揮できる分野を広く探索しない、自分の頭で考えず教員に依存しがち、活動にスピード感がない、等など。こうした学生には、ぜひ、上で紹介した３名の「主体性」旺盛な行動を参考にしてほしいものです。
最近出会った言葉に、「良い『習慣・学び・仕事観』が、自分らしいキャリアを生む」というのがあります（高橋俊介氏）。専門学校は、これらを身に付ける絶好の場です。皆さん、 職業実践専門課程など本学における学び・経験のプラットホームを活用し、良い『習慣・学び・仕事観』を、そして「キャリア・オーナーシップ」を身に付けていきましょう。

10月の予定

1日(月)入学願書受付開始
　ORT臨地実習Ⅰ(～31日)
　2CP保育実習Ⅰ(施設)(～12日)
8日(月)体育の日
13日(土)オープンキャンパス　13:15～
16日(火)秋季スポーツ大会(このはなアリーナ)
19日(金)漢字検定
20日(土)「静岡県視能訓練士の会」講演会
22日(月)2TW･CW第4期実習　(～11/17)
23日(火)学校学科･入試説明会　17:00～
25日(木)J検CBT
27日(土)第1回入学選考